

報告第19号

令和2年度公益財団法人宇治市公園公社経営評価の報告について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第5条第1項の規定に基づき、令和2年度公益財団法人宇治市公園公社経営評価について、別紙のとおり報告する。

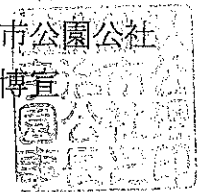
令和3年9月16日提出

宇治市長 松村 淳子

3公宇公第152号
令和3年7月7日

宇治市長 松村 淳子 様

所在地 宇治市広野町八軒屋谷25-1
法人名 公益財団法人宇治市公園公社
代表者氏名 理事長 吉田 博宣



宇治市出資法人自己評価報告書の提出について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第4条第2項の規定に基づき、次の通り報告します。

宇治市出資法人自己評価報告書

1. 法人の概要

団体名	公益財団法人 宇治市公園公社	設立年月日	昭和63年7月11日
公益財団法人への移行年月日			平成22年10月1日
基本財産	30,000千円 (移行前 30,000千円 うち市出えん・出資額 30,000千円 出資比率100%)		
設立目的	宇治市における都市緑化推進事業及び公園緑地事業の発展振興を図り、市街地の緑化及び緑地保全を促進するとともに、都市公園等の円滑な管理運営及び健全な利用を通じてスポーツ・レクリエーションの振興を図り、もって都市環境の改善と市民福祉の増進に寄与する。		

2. 役職員等の状況

		平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		市職員	市OB		市職員	市OB		市職員	市OB	
役員等	常勤	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤	22	3	3	22	3	3	22	3	3
職員	管理職	6	0	5	6	0	5	6	0	5
	一般職	19	0	0	19	0	0	20	0	0
	計	25	0	5	25	0	5	26	0	5

*役員等と職員を兼務している場合はそれぞれ1名でカウントしている。

3. 事業の概要

主要事業名	事業内容
緑化推進事業	都市緑化基金の造成、管理及び運営 都市緑化の推進を図るための調査研究、助成事業等 市民の緑化意識の向上 自然環境の保護及び整備 植物文化の普及及び向上
都市公園・都市公園施設の管理運営事業	宇治市植物公園、西宇治公園・巨椋ふれあい運動ひろば、黄檗公園・東山公園の管理及び運営
スポーツ・レクリエーション事業	スポーツ需要の拡大及び健康の維持増進のための健康づくり講座

4. 財務状況

1) 正味財産の状況

(単位：円)

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収 益	324,223,131	327,144,292	329,530,470
収益事業収益等	17,464,213	16,013,687	15,557,496
市 支 出 金	306,758,918	311,130,605	313,972,974
人 件 費	118,338,913	121,905,013	115,179,620
事 業 費	188,420,005	189,225,592	198,793,354
費 用	320,758,948	331,263,202	327,191,777
人 件 費	129,567,780	137,155,991	124,366,421
事 業 費	191,191,168	194,107,211	202,825,356
当期経常増減額	3,464,183	△4,118,910	2,338,693
当期正味財産増減額	3,163,782	△2,770,640	632,670
期末正味財産合計額	173,961,083	171,190,443	171,823,113

2) 貸借対照表

(単位：円)

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
資産合計	227,461,955	224,561,197	239,022,413
流動資産	14,118,284	13,396,748	24,434,059
固定資産	213,343,671	211,164,449	214,588,354
負債合計	53,500,872	53,370,754	67,199,300
流動負債	23,340,490	21,924,872	31,986,886
固定負債	30,160,382	31,445,882	35,212,414
正味財産合計	173,961,083	171,190,443	171,823,113
基本財産	31,028,343	30,791,343	30,575,343
その他正味財産	142,932,740	140,399,100	141,247,770

3) 市財政支出の状況

(単位：円)

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
補 助 金	118,338,913	121,905,013	115,179,620
委 託 料	188,420,005	189,225,592	198,793,354
その他(分担金等)	0	0	0
計	306,758,918	311,130,605	313,972,974
貸 付 金	0	0	0
借入金残高(期末)	0	0	0
市の債務保証残高(期末)	0	0	0
市の損失補償残高(期末)	0	0	0

4) 主要経営指標

指標	算式	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人件費比率	人件費計÷費用計	40.4%	41.4%	38.0%
自己資本比率	正味財産計÷資産計	76.5%	76.2%	71.9%
流動比率	流動資産÷流動負債	60.5%	61.1%	76.4%
借入金依存度	借入金残高÷総資産	0%	0%	0%
借入金返済能力	長期借入金÷(減価償却費+税引後利益)	0%	0%	0%

5. 経営評価（法人自己評価）

視点	評価	コメント
目的適合性	A	<p>当社は、都市環境の改善と市民福祉の増進に寄与することを目的とし、都市緑化事業に取り組み、緑豊かなまちづくりとスポーツ・レクリエーションの振興と健康づくりを推進する事業の発展的展開を図ってきた。また、公益法人として、公益目的事業の推進に努めている。</p> <p>「緑化推進事業」については、都市緑化基金の運用益を活用し、民有地の緑化と花と緑のある街づくりを推進するため、各種助成事業を実施すると共に、都市緑化意識の高揚を図り、地域での緑化を実践する人材育成を目的に「宇治みどりの学校」を開催している。又、緑化の普及、啓発事業を実施すると共に、宇治市緑化ボランティア「緑の会」の技術支援、活動支援を行っている。</p> <p>「宇治市植物公園」については、開園以来25年を迎え、この間、都市緑化の拠点として、市街地の緑化保全の推進並びに市民の緑化意識の向上及び宇治地域植物の保存・育成に寄与し、併せて環境保全、防災、景観、福祉、市民参画、レクリエーション等の機能を有する「みどりの総合拠点」としての役割を果たしてきた。公園運営においては、市民参画共同、産学官連携、各種団体、地域との連携を基本方針に「宇治市植物公園サポーター制度」を構築し、花と水のタペストリーの絵柄更新、サポーターボランティア活動の実施、各種学校との連携事業を多数実施し、市民、地域から選ばれる公園づくりに努めている。</p> <p>「運動公園施設」については、体育施設管理士、体育施設運営士、プール衛生管理者等の有資格者の職員を配置し、安全安心な運営管理のもと、市民サービスの向上とスポーツ・レクリエーションの振興を基軸に置いた貸館施設事業の運営を行っている。</p> <p>加えて、公園公社の自主事業として多様な健康運動教室等を実施し、市民の健康増進と市民スポーツの普及にも努めると共に地域に根差した公園として、地域活動との連携、支援にも努めている。</p>

<p>効率性</p>	<p>A</p>	<p>「公社事務局」については、振込業務の電子化、一元的な会計処理の電算化など事務の簡素化と効率化に努めている。</p> <p>「緑化推進事業」については、都市緑化基金の積極的な運用を行い、多様な事業が実施できるよう事業費の確保に努めている。</p> <p>「宇治市植物公園」については、限られた人員の中で、数多くの展示会・講習会、イベントを実施するため、フレックスタイムの導入による柔軟な勤務体系の構築や、これまで培ってきた経験と知識、データ等を最大限に活用して施設の管理・運営の効率化を図っている。</p> <p>「運動公園施設」については、施設管理や運営のための有資格者を配置することにより、専門的な立場から安全で、効率的・効果的な業務の推進を図っている。</p>
<p>組織運営 健全性</p>	<p>B</p>	<p>公益法人の核として、ガバナンスの強化、組織間の連携強化を図ると共に、過去の教訓を生かし、更なるコンプライアンスの強化に努めている。</p> <p>また、公益法人の適正な会計処理として、定期的な監査の実施や税理士による専門的なチェックを行っている。</p> <p>さらに、接客マニュアル、救急マニュアルと緊急時対応マニュアル等に基づく、顧客サービスの向上、安全安心な施設利用と危機管理体制の確立に努めると共にホームページによる情報発信と法人情報の公開により、経営の透明性の確保を図っている。</p>
<p>財務 健全性</p>	<p>B</p>	<p>平成18年度から指定管理者の指定を受け、補助金、指定管理料の中で各施設の管理運営を行っているが、この間、公益法人として、歳入面では、利用料収入を上げるための継続した取組に努めている。一方、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大による閉園、施設の利用制限に伴い運動公園施設における自主事業収入が大幅に減少したため、国の持続化給付金を申請し、減収額の補填を行っている。</p> <p>「植物公園」については、入園者の増加に向け、施設や見所等のPRを始め、タイムリーな企画を創意工夫し、参加型の事業等、積極的に多様なイベント等の事業展開を図り、入園者数は、平成18年度以降概ね10万人を確保してきている。令和2年度は、入園者数10万人超えを目標にスタートしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う4月中旬から約1か月半の休園及び開園後も各種イベントの中止、規模の縮小などを行い第1四半期の入園者数は、前年度比71%減となった。しかしながら、第2四半期以降はタペストリーの絵柄の更新、新型コロナウイルス感染症対策を行いながらのイベント等の開催により、7月以降は全ての月において前年度の入園者数を上回り、年間入園者数は、前年度比14%減に止めることができ、利用料収入は、前年度比23%減となった。</p> <p>「運動公園施設」については、新型コロナウイルスの感染拡大に</p>

		<p>より、4月、5月の全施設の利用休止、再開後も各種大会の中止や夜間の施設利用の中止があり、利用者総数は、昨年度比約43%減で、利用料収入も昨年度比38%減となった。又、施設利用者の利用率の向上と自主事業収入の増加を図るため、各種健康教室を開催すると共に、新種目の企画による利用者の増加に向けた取組を間断なく行っているが、新型コロナウイルスの感染拡大により、4月、5月は全事業を休止すると共に再開後も各教室の利用人数を半数に減らして実施したことにより、利用者数は、昨年度の約半数の延べ5,821人となり、利用料収入も、半減の約510万円となった。</p> <p>なお、自主事業収入は、公益目的事業の支出にも振替え、公益目的事業の充実を図っているところであるが、収益の大幅な減少により、厳しい運営状況となった。</p>
総合評価	B	<p>「指定管理者」としては、指定管理料を有効に活用し、市民サービスの向上、施設利用者の増加に努めると共に、経費の削減や効率的な管理・運営の推進にも努めている。一方、「公益法人」としては、健全で透明性の高い経営と市民満足度の高い施設の運営を通して、効果的な公益目的事業の実現に努めているところである。</p> <p>令和2年度の各施設の管理・運営事業は、新型コロナウイルスの感染拡大による施設の利用休止等により、年度事業計画に沿って、各種事業を実施することができない状況となった。中でも自主事業については、参加者数の制限や施設全体の利用者数の減少により、収益が大幅に減少し、自主事業収入による公益目的事業への振替が厳しい状況となった。しかしながら、そのような中であっても、利用者の安全を最優先に、各種新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、可能な限り年間計画事業を遂行し、少しでも多くの利用者の確保、利用料収入の確保に努めた。又、当公社としては、厳しい状況下であっても、収益と市民サービスの向上を念頭に、経営マネジメントを継続し、常にコストを意識した業務運営を行うと共に、市民ニーズを的確に捉えた各種事業の企画、運営を継続して積極的に行っているところである。</p>

評価の目安 A：良好である B：ほぼ良好である C：やや課題がある D：課題が多い